

	<h1>れんごう下越</h1>	<p>第 116 号 2015.11.15 発行人 福井 正史 1部5円 購読料は会費に含 <b>En la union Esta la fueraza</b> <b>団結こそ力</b></p>
<p>日本労働組合総連合会新潟県連合会・下越地域協議会 957-0054 新発田市本町 1-1-6 総合生協会館内 TEL0254-26-3705 FAX0254-26-0556</p>		
<h2>第4回新発田支部ソフトボール大会開催される</h2>		



第4回新発田支部ソフトボール大会を10月24日（土）に開催しました。連合新潟のスローガンである運動への「参加」を基に、組合役員だけでなく交流の場を提供する活動及び日頃の運動不足解消の場となりました。参加者は55名、参加チームは「北興化学労組」「日本海LNG労組」「新教組下越支部」「日本ケミコン労組」の4チームでした。北興化学工業株式会社のご協力により新潟工場グラウンドを毎年使用させていただいております。試合は総当たりのトーナメントで各チーム3試合を行い、参加者の中には腕に覚えがある方が多く、白熱した試合が続きました。スポーツで地域の働く仲間が集う事の素晴らしさを感じました。今年の優勝チームは「北興化学労組」が勝利し、3回目の優勝となりました。ケガもなく楽しい大会となりました。大会終了後、会場を変えて懇親会を開催し、一日の疲れと試合の話で単組交流を深める事が出来ました。



### 胎内支部ボウリング大会開催される

連合胎内支部ボウリング大会を10月17日（土）に新発田ジョイタウンボウルで開催しました。今年は、会場を新発田へ移して、当日は幅広い年齢層より27名の参加となり、各レーンの人員構成を各単組の混合チームとした事で、コミュニケーションを取りながら、ハイタッチの飛び交う、和気あいあいとした雰囲気の中で大いに盛り上がりました。今後も、皆さんの意見を頂きながら、楽しいスポーツイベントを企画して参りたいと考えております。参加された方、大変ありがとうございました。

胎内支部長 中原 拓也

**連合推薦候補者の五泉市議会議員選挙の結果**

連合下越地協は、五泉市議会議員選挙に 3 名を推薦し、当選に向け取り組みをしてきました。定数 20 に対し 24 名の立候補があり、結果は残念ながら 2 名の当選に終わってしまいました。ご支援ありがとうございました。熊倉議員が副議長に就任しました。  
10月25日投開票日 投票率 63.82%

氏名	得票数	結果
町田 俊夫 (まちなだ としお)	1,173 ⑫	当選 (4)
熊倉 政一 (くまくら まさいち)	959 ⑲	当選 (4)
塚野 弘 (つかの ひろし)	791 ㉓	落選

食・環境に対する体験学習会  
五泉さといも堀り！



連合下越地協は、毎年食・環境に対する学習会を開催しています。今年度は、五泉さといも堀り体験を 11月9日に開催致しました。「NPO 法人五泉トゲソの会」と協賛し、生産者である五泉市議会議員の熊倉政一さんから、五泉のさといも「帛乙女」(きぬおとめ)について説明を頂きました。五泉市は日本三大生産地であります。五泉のさといもは、大和早生(やまとわせ)という丸芋系品種で、およそ 20 年余りにおよぶ品種改良を組み入れた栽培を経て、優良品質を作り上げてきました。説明後、さといも堀り体験を行ない、五泉の素材を使用した「いも汁」の試食を頂きました。また、「NPO 法人五泉トゲソの会」の活動についても見学しました。

**第 25 回連合新潟定期大会開催される**



11月5日新潟市東映ホテルに於いて、第25回連合新潟定期大会が開催されました。代議員、特別代議員、傍聴、役員を含め190名の出席でした。齋藤会長は【ストップ・ザ・格差社会！すべての働く者を連合の輪へ「安心社会」を切り拓こう！そして運動への「参加」と組織の「拡大」をすすめ、地域活動を広めよう】、またこれを柱に2年間の方針として進め、また2020年には運動の転換期を迎え、連合1000万人、男女共同参画で女性役員30%、最低賃金平均1000円の実現、その目標に向かって確実に取り組んで行こう、と挨拶がありました。2016年～2017年度の役員選出では連合下越地協の久志田事務局長を選出しました。連合新潟定期大会を受け連合下越地協は、11月20日(金)午後3時から新発田市地域交流センター会議室で第25回連合下越地協定期総会を開催します。各単組代議員は出席をお願いします。

**新発田地域高齢者協第18回定期大会開催される**



10月27日に新発田地域高齢者協第18回定期大会が開催されました。2015年活動方針の提案で「安部政権」が推し進める

政策ストップをかける。また連合下越地協と共同行動を強める事とし、新発田地区だけではなく阿賀野地域、胎内地域を含めた運動を推進するために名称を新発田地域高齢者協議会から下越地域高齢者協議会とし今後活動等の整備を進めていくことを決議しました。